

津和野小便り

1 号

平成 24 年 4 月 20 日

挨拶

校長 沖田 敦

13年ぶりの津和野小学校勤務です。前回勤務の頃と比べて、頭頂部の髪の毛の薄さが気になり、腰痛の膏薬が手放せず、目はカスミ、それから……。変わらないのは、城山の石垣と元気な子どもたちの姿。

4月になって、21名の1年生を迎え、全校児童数が120名となりました。120名の子どもたちが、お互いがお互いを認め合い・支えあいながらたくましく成長し、確かな基礎学力を身につけてほしいと願い、以下のような学校教育目標を定めました。

保護者のみなさま、地域のみなさま、よろしくお願ひいたします。

学校教育目標

自他を大切にし、共に学び、きたえようとする子どもの育成

- | | | | |
|--------|------------|---------|-------|
| めざす児童像 | ～仲良く はっきり～ | ・支え合う子 | 受容と支援 |
| | | ・伝え合う子 | 集中と主張 |
| | | ・たくましい子 | 自主と自律 |

学校経営の重点

○支えあう子の育成

自分や友だちのよさに気付き、お互いを認め合いながら、いろいろな事を友達や教師と話題にし、楽しく学校生活を過ごしている。

- ・児童の良さを広げる手立ての実践
評価 クラスの友達のよいところをしていますか。

- ・温かい集団づくりの実践
評価 楽しくて居心地がいいですか

○伝え合う子の育成

集中して課題に取り組み、友達同士で助け合ったり、教師に積極的に質問したりして、自分自身が納得できるまで頑張ろうとしている。

- ・全員参加の授業づくり
評価 友達の意見をしっかり聞いたり、自分の考えをはっきり言ったりしていますか

- ・児童の実態に応じた指導
評価 「まだよくわかりません」と、言えますか

○たくましい子の育成

時と場に応じた態度が自然にとれると同時に、心の内に葛藤がある場合、自分をコントロールしている。

- ・基本的生活習慣の確立に向けた手立ての工夫と実践
評価 気持ちよくあいさつをしていますか

- ・自ら立てた目標に向かって努力しようとする態度を継続させるための工夫
- 評価 やるべきことを後回しにすることはありませんか
- ※「評価」と記した内容は、児童へのアンケート予定項目です。

悩む校長

前校長から引き継ぎを受けた日以来、校長のAさん(プライバシー保護のため仮名)の悩む日々は続きました。それは、運動会のマーチングの在り方についてのことです。前校長からは、24年度から縮小し、やがて取りやめる方向で文書を出してある旨の引き継ぎを受けました。実態(児童数の減少等)を考えると、この判断は、きわめて適切であると思います。しかしながら、長年続いてきた伝統的な活動を中止することは、保護者の方の理解が得にくいだろうとも思います。

この活動を左に示した学校教育目標の「めざす児童像」に照らして考えると、「たくましい子」の育成に関係があります。「たくましい子」の中の自主性を育てることは、マーチングの指導ではほぼ不可能です。一方、自律性を育てる活動としてとらえれば、一定の意味があると思います。こうしてますます悩みは深まります。

それでは、授業時間数との関わりで考えてみます。昨年度から小学校の教育課程(目標・内容・時間数等)は大きく変わりました。週当たりの授業時間数が1・2年生で週2時間、3～6年生で週1時間増加しています。また、授業時間数だけでなく、教科書のボリュームも全教科平均で25%増加しました。こうした中で、教育委員会は、2学期の始業式を3日繰り上げる措置をとりました。さらに、津和野小学校では、週当たりの授業時間を標準より1時間多く設定し、授業をしています。(3～6年) それでも、今年度、6年の授業時間の余裕は24時間しかありません。一方、昨年度、マーチングの練習に当てた時間は15時間程度。引き算をすると……。A校長の顔が一瞬、青ざめました。

五月の行事予定

- 1(火)振替休業日(4/28)
- 2(水)徒歩遠足(荒天授業：要弁当)
- 8(火)全校和太鼓鑑賞(鼓童)
- 30(水)クラブ開始(4.5.6年)
- 9(水)眼科検診
- 31(木)スポーツテスト 給食後下校(研修会参加の為)
- 14(月)～16(水)内科検診
- 17(木)津和野町小学校陸上大会(18日は予備日 両日とも要弁当)
- 19(土)PTA奉仕作業(予備日は26日)
- 23(水)～25(金)家庭訪問(給食後下校)
- 24(木)心電図検査(1.4年)
- 28(月)寄生虫検査
- 29(火)プール掃除